

# 5. 山北地域

# 海と山

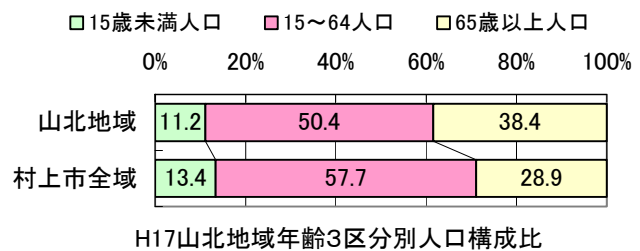
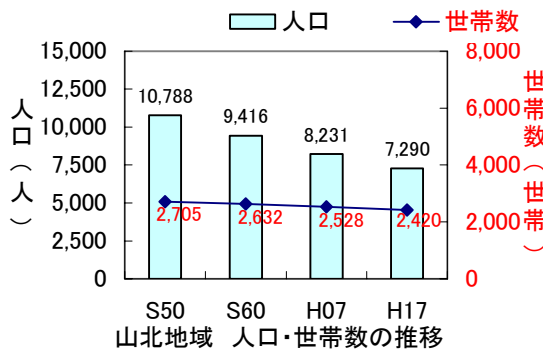


【山北地域の位置】



## 【地域の現状】

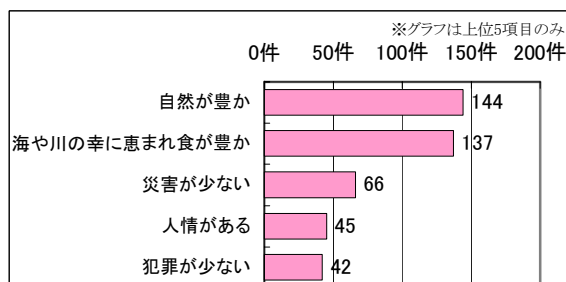
- ・ 村上市の北部、旧山北町の区域
- ・ 山林地が約 96%、農地が約 3%、宅地が約 1%
- ・ 人口は大きく減少傾向、世帯数は 減状態
- ・ 65 歳以上高齢者比率が 38.4% と高い



## 【アンケート結果】

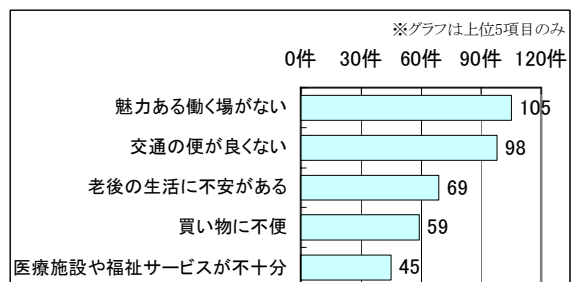
・ 村上市が住みやすいと感じる理由

5. 山北地域



・ 村上市が住みにくいと感ずる理由

5. 山北地域



## 山北地域の課題

### 【美しい自然景観・環境の保全と活用】

全国に誇れる「笹川流れ」の景観保全と地域活性化へのさらなる活用  
海岸の背後に広がり、総面積の約9割を占める山林地の自然環境・自然景観の  
保全と有効な活用

### 【古くから伝わる風習・生業の継承と活用】

古くから地域に伝わる生業の継承と地域づくりへの活用  
美しい自然に育まれた四季折々の素材・食文化など山北ブランドの確立  
地域資源を活かしたコミュニティビジネスやイベントなどの持続的発展によ  
る地域経済とコミュニティの活性化、交流資源としての有効活用

### 【安全・快適・便利な居住環境の整備】

小規模集落における快適な生活環境の確保とコミュニティの維持  
災害時の代替道路確保など安全安心な道路網整備  
狭小道路や密集家屋の改善など、災害に強い地域づくり  
都市サービスが集積する村上市街地又は鶴岡方面への円滑な移動手段の確保

## 山北地域の将来目標

### 「海」と「山」の文化

山北では、笹川流れに代表される「海」と広大な「山」の恵みによって発展し、  
暮らしの生業の文化が伝承されています。これからも「海と山」の文化を地域づ  
くり活かししていきます。

#### 1 笹川流れと山・森・水が織りなす美しいまち

地域の大半を占める山林地と、山から出ずる清流、景勝「笹川流れ」の海岸景  
観と自然循環を大切に保全し、来訪者が地域の自然を満喫できるよう、美しく活  
力のある地域を目指します。

#### 2 伝統文化などの地域資源を活かし活力につなげるまち

地域内で古くから伝わる灰汁笹まきなどの地域固有の特産品、また四季折々の  
農林漁産物などの「ごちそう」、各地で定着しつつある活性化イベントなどを今  
後も活かし、外部との交流の拡大を図るとともに、新たなビジネスと山北ブラン  
ドの創出にもつなげ、地域の雇用の場の確保と経済活性化を目指します。

#### 3 中山間地であっても安心・快適に暮らせ持続するまち

沿岸部や山間地の既存集落地における交通安全や越波被害対策などを進める  
とともに、特に高齢者の買物や通院などの利便性を確保し、住民が安全安心に暮  
らせる地域を目指します。また、若い人たちも住み続けたい魅力ある地域を  
創造し、活力が持続するまちを目指します。

## 山北地域の整備方針

### 1 「笹川流れと山・森・水が織りなす美しいまち」の方針

#### 【美しい自然景観の保全と活用】

国の名勝天然記念物である笹川流れ一帯の海岸については、景勝地としての海岸景観の保全を図り、海水浴やキャンプ、釣りなどを目的とした多くの来訪者を迎え入れるための自然資源として、きれいな海の保全を図ります。

地域の約9割を占める山林地については、土砂流出防止や水害の防止、水源涵養、CO<sub>2</sub>の吸収、美しい山北のイメージを保持する景観形成、保健休養などの公益機能を確保するため、多様な生物が生息する環境づくりにも配慮しながら維持保全を図ります。

海岸浸食などの著しい箇所の海岸保全事業の実施を目指します。

来訪者などのごみ捨てマナーの向上を目指し、山林や河川などのきれいな自然環境や景観の保全を図ります。



### 2 「伝統文化などの地域資源を活かし活力につなげるまち」の方針

#### 【地域固有の生業の保全活用】

中山間地や海岸部の棚田景観、大毎集落の吉祥清水、灰汁笹まき、赤カブなど、地域の生活に根付く文化の保全と活用を目指します。

コド漁や国の伝統工芸品に指定された「羽越しな布」などの地域の技や文化などを体験しながら、交流や滞在ができる施設の整備を目指します。



#### 【地域資源活用による交流の拡大】

豊富な「山の幸」や「海の幸」などを活かしたグリーンツーリズムへの展開や、地域の特産品・加工品を販売・飲食する施設の整備などにより、地域の交流を目指します。

かつて北前船の寄港地であった脇川・寝屋などの集落は、当時を偲ばせる建物を活かしたまちなみの保全とさらなる魅力的な景観の創出を図ります。

本市と山形県鶴岡市を結ぶ出羽街道沿いにある北中・小俣宿などの集落は、街道としてのまちなみの保全とさらなる魅力的な景観の創出を図ります。

山熊田集落や小俣集落など地域で行われている散策イベントの継続を図るとと

もに、他地域からも多くの参加者が集い地元住民と交流を深め、地域の活性化につながるような支援を目指します。

合併前から旧山北町が行ってきた「魅力ある集落づくり事業」により各集落が整備した施設やイベント活動を、今後とも他地域との交流拡大に活用し、さらにはコミュニティビジネスへの展開など、活力と持続性ある地域づくりを目指します。



### 3 「中山間地であっても安心・快適に暮らせ持続するまち」の方針

#### 【基幹集落の整備】

JR府屋駅周辺は、行政機関・体育館・中学校・郵便局などの公共公益施設のほか飲食店や業務施設の立地も多くみられる地域の中心拠点であることから、これらの都市的サービス機能の維持充実と、歩行者空間の整備や駅周辺の公共交通の乗継ぎ機能の向上などを目指します。

#### 【集落内のコミュニティの維持】

人口減と高齢化が進む集落地においては、生活道路や公園広場などの基盤施設の改善と適切な管理により居住環境の維持を図るとともに、コミュニティを維持するため、まつり行事や集落で行う協働作業が効率的に維持・継続されるような仕組みづくりを目指します。

集落内の空き家・空き施設などを活用した地域住民の憩いの場や来訪者との交流の場づくり、また都市住民の二地域居住の場としての整備を目指します。



#### 【集落内生活環境の整備】

集落部に住む交通手段を持たない住民が、容易に府屋周辺の基幹集落や市街地の都市サービスを楽しむことができるよう、地域公共交通総合連携計画に基づき鉄道を含めた総合的な公共交通の再編を検討し、地域の移動手段の確保を図ります。

山間地の集落については、災害時の迂回路として、既存の林道や農道の利用を検討し、その整備を目指します。

山北工業団地への企業誘致と地域の雇用の場の確保を目指します。

#### 【広域への連携促進】

当地域は他地域と比較しても市の中心部である村上市街地への距離が遠く、相当の所要時間を要することから、緊急時の交通環境を改善する上でも、国道7号・345号の走行性や各集落からのアクセス向上を目指します。

当地域は、古くから北に隣接する山形県鶴岡市方面とのつながりも強いことから、国道7号やJR羽越本線などの交通施設の更なる整備充実を推進し、買物や通勤、観光などにおける利便向上と一層の交流拡大を目指します。

#### 【安全な地域づくり】

国道7号と345号の降雨時の規制解消に向けた改良を働きかけ、広域幹線道路としての機能充実を目指します。

地域内の急傾斜地や土砂崩壊危険地区などの危険地区の防災対策の実施を目指します。

海岸部の集落では、津波の際に集落住民が安全かつ円滑に避難できるよう、避難場所・避難路の周知とこれらの整備を目指します。



# 山北地域 整備方針図

